1 S143の主な特長

セイコーストップウオッチS143は、プリンターと接続して計測データを即時に印字処理できる「プリントアウト機能」付きデジタルストップウオッチです。スプリット・ラップ・トータルタイム又は計測中ラップタイムを同時に確認できる「３段表示の大型パネル」と計測データの「メモリー機能」を備えています。３気圧防水構造ですので、雨天時や水しぶきのかかりやすいスポーツでも安心してご使用いただけます。

- ●３段表示の大型パネルを採用………トータルタイム（スタートからの経過時間）又はランニングラップタイム（現在計測中のラップタイム）、スプリットタイム（途中経過時間）、ラップタイム（区間経過時間）を同時に見やすく表示。
- ●メモリー機能………300本までの容量を持ち、スタートからストップ／リセットまでの一連のデータを「ブロック」として扱い、前のデータを消さずに別ブロック（最大100ブロック）でメモリーします。データの日時別管理に最適です。
- ●この他、個人別管理に役立つID設定機能、メモリー使用量インジケーター、最速ラップ呼出機能など便利な機能を盛込みました。
- ●ストップウオッチを使用しないときにはカレンダー付時計としてもご使用いただけます。
- ●本体に抗菌材を使用しております。

※経年変化やご使用の状態によって抗菌効果は低下いたします。

2 ストップウオッチの使いかた①各部の名称と働き

●ボタンⒹを押してストップウオッチ　トータルタイム表示にしてください。

- ボタンⒸ（リコール）　1回押すごとにメモリーされたラップタイムとスプリットタイムが表示されます。
- ボタンⒷ（ラップ／スプリット リセット）　計測がスタートしてからボタンⒷを押すごとに、スプリットタイムとラップタイムがとれます。計測を終了（ストップ）して押すと、新しいブロックになります。
- スプリット・ラップ番号
- ボタンⒶ（スタート／ストップ）　1回押すごとにスタート・ストップをくり返します。
- スプリットタイム（2時間2分45秒05）
- ラップタイム（1分28秒33）
- トータルタイム（積算タイム）（2時間3分56秒38）
- インジケーター　メモリの使用量を示します。
- モードマーク
- ボタンⒹ（モード切替）　1回押す毎に ストップウオッチ　トータルタイム → ストップウオッチ　ランニングラップタイム → 時刻カレンダー表示 に切り替わります。

スプリットタイムはスタートからある区間までの途中経過時間、ラップタイムは区間と区間の経過時間です。

②ブロックについて

- S143は、「ブロック」方式を採用しており、スタートからリセットまでの計測データをひとつのブロックとしてメモリーします。
- 各ブロックには、スタート日時が自動的にメモリーされます。
- スタートする前にこれから計測する「ブロック」に番号が付きます。
- 300データ分のメモリーを使いきるまで、計測したデータをメモリーすることができます。
- ひとつのブロックでは最低３個のメモリーが必要になります。よって、複数ブロックをメモリーした場合、各ブロック内のラップ/スプリットデータ数の合計が300になる前にメモリーが満杯になります。

③普通の使い方

ボタンを押す順序　Ⓐ→Ⓐ→Ⓑ

（スタート）　（ストップ）　（リセット）新しい次のブロック番号でリセット表示になります。

④時間計測を積算で行うとき

⑤スプリット、ラップの使いかた（最下段トータルタイム表示の場合：例マラソン）

（40km地点）区間8　スプリットタイム　2時間1分14秒12　ラップタイム　16分42秒33

（ストップ）最終タイム　2時間11分17秒99

（リセット）新しい次のブロック番号でリセット表示になります。

⑥スプリット、ラップの使いかた（最下段ランニングラップ表示の場合）

ランニングラップ表示マーク　ランニングラップ表示であることを示します。

（ラップ／スプリット計測）現在計測中の区間経過時間を表示します。Ⓑボタンでラップ／スプリット計測を行う度に0:00'00"00からカウントします。

現在測定中の区間経過時間が1時間を超えると、時桁が表示されます。

⑦メモリーの呼び出しについて

- 計測し、メモリーされたデータ（最大300データ）を呼び出し、見ることができます。
- データを表示させる以外に、データをプリントすることもできます。
  → 「4の⑤データのプリント」を参照
- ボタンⒸを1回押すごとにメモリーしたタイムが呼び出され、押しつづけると連続して呼び出されます。
- タイム計測中（ストップウオッチ動作中）でもメモリーしたタイムを呼び出せます。
- プリンタを接続して計測しながらプリントした時も、タイムはメモリーされます。

・タイムの呼び出し方向

	ボタンⒸを押すごとに
ストップウオッチが停止しているとき	古い順にタイムを呼び出します
ストップウオッチが動いているとき	新しい順にタイムを呼び出します

・メモリー呼び出し（リコール）中のボタン操作

リコール前の状態	ボタンⒶ	ボタンⒷ	ボタンⒹ
リセット	リコール前に戻る	メモリークリア	リコール前に戻る
ストップ	リコール前に戻る	リコール前に戻る	リコール前に戻る
計測中	計測STOP	LAP/SPLIT計測	リコール前に戻る

○ストップウオッチがリセット状態、またはストップ状態のとき：
BLOCK1のスタートデータから古い順にメモリ内容を表示します。
〈例：現在の表示がBLOCK4　リセット状態の場合〉

○ストップウオッチが計測中のとき：
新しい順にメモリー内容を表示します。

BLOCK3 最速ラップ → BLOCK3 ストップタイム → BLOCK1 ラップ/スプリット タイム1 → BLOCK4 ラップ/スプリット タイム3

⑧メモリーの消去のしかた

- こんなときに、メモリー消去が必要になります。
  a）不要になった計測データを消したいとき
  b）これから計測しようと思うが、メモリーの残り量が少なくオーバーしそうなとき
- メモリーの消去とは、メモリーを全て消すことになります。ブロック単位やデータ単位での消去はできません。

①ストップウオッチが計測中やストップ状態ではメモリーの消去はできません。ストップウオッチをリセット状態にしてください。

②Ⓒボタンを押してください。リコール状態ならば、どのメモリーを表示していてもメモリー消去をすることができます。

③ボタンⒷ(CLEAR)を1.5秒以上押し続けてください。ボタンⒷ(CLEAR)を押している間このような表示と共に「ピッピピッ・・・」という警告音がします。1.5秒以上押しつづけると、長い報音（ピー）とともにメモリーの消去が終了します。

（メモリークリア操作）
※メモリークリア操作をすると、モードマークがリコールマーク側によります。
すべてのデータが消去され、ブロック1のリセット状態にもどります。
※ボタンⒷを1.5秒以上押さない場合は、メモリーは消去されません。

（リセット状態）　（スタートデータ）　（リセット）

⑨メモリー使用量について

- メモリーをどのくらい使用しているのかをインジケーターで表示します。
- 各ラップまたはスプリットの他に、スタート及びブロックナンバーも2個のメモリーとして使用しますので、1つのブロックでは最低3個のメモリーが必要になります。よって、複数ブロックをメモリーした場合、各ブロック内のラップ（またはスプリット）データの合計が300になる前にメモリーが満杯になります。

●メモリーの呼び出し中のデータ案内
メモリー呼び出し中は、呼び出しているメモリーをバーの点滅で表示します。
下図では210個〜239個のデータがメモリーされていて、現在その真中あたりのメモリーを呼び出していることを示します。

●インジケーターの見かた
10個のバー表示でメモリーの使用量を段階的に表示します。
1個のバーが「データ30個分」に相当し、下からそのメモリーの使用量を表示します。

バー表示が示すメモリー使用量：290〜300、270〜290、240〜269、210〜239、180〜209、150〜179、120〜149、90〜119、60〜89、30〜59

メモリーの残量が10個以下になると点滅し、ゼロになると点灯します。
「30個〜59個」のデータがあることを示します。
バー表示がない場合はメモリー使用量は29個以下です。

●メモリーが満杯になった場合
・全てのバーが点灯します。
・301個目以降の計測は表示されますが、メモリーされませんので後から呼び出すことはできません。

3 時計・カレンダー表示①各部の名称と働き

●ボタンⒹを押して時刻・カレンダー表示にしてください。

- ボタンⒸ（コントラスト）このボタンを押すと、コントラスト調整状態になります。
- ボタンⒶ（セット）修正個所の合わせに使います。

②時計・カレンダーの合わせかた

時刻カレンダー表示 → ストップウオッチ　トータルタイム → ストップウオッチ　ランニングラップタイム に切り替わります。

※秒表示が30〜59秒の時にボタンⒶを押すと分が１分くり上って00秒に合います。
※ボタンⒶを押しつづけると数字が早く変わります。時・年・月・日・ID合わせの場合も同様です。
※（時）は24時間制で表示されます。

どの部分も単独で合わせられますので、合わせたい所をボタンⒷで選びボタンⒶで合わせてください。
※カレンダーは1999年〜2048年まで年・月・日がプログラムされており、月の大小はもちろんうるう年でも月・日の修正は必要ありません。

③液晶パネルコントラスト調整

- 液晶パネルのコントラスト（濃淡）を調整することができます。
①時刻・カレンダー表示にしてください。
②ボタンⒸを押すと、コントラストを調整できるようになります。コントラストは、１〜10の10段階があります。１が最も薄く、10が最も濃くなります。
③ボタンⒸまたは、ボタンⒹを押すと、時刻・カレンダー表示に戻ります。

コントラスト表示
ボタンⒶ：＋1（濃く）
ボタンⒷ：－1（薄く）

4 プリンタSP12の主な特徴

セイコーシステムプリンタSP12は、システムストップウオッチと接続して計測データを即座に記録できる小型軽量で携帯性に優れた印字専用プリンタです。
接続できるストップウオッチはS123、S124、S143、S701です。

①各部の名称と働き

- ロールペーパーカバー　カバーの内側にロールペーパーをセットします。
- 紙送りスイッチ　1回押すと1行分紙送りします。押して続けると、連続して紙送りします。
- ホルダー
- パワースイッチ（電源スイッチ）
- ペーパーカッター　紙送りスイッチで適当な位置まで、紙を送り出して切ります。
- 印字切替スイッチ　ラップ・スプリット印字 ↑上側　スプリットのみ印字 ↓下側　の切替を行います。
- ジャック部
- 電池ブタ　手前に引いて外します。

〈側面〉〈表〉

②乾電池の入れ方

一般に市販されている単３電池４本が必要です。
1 パワースイッチをOFF位置にして電池ブタを外して下さい。　押しながら手前に引き出します。
2 乾電池を図のように入れて下さい。
●乾電池の方向は電池ボックスの内側に表示してあります。
●マイナス⊖側から入れて下さい。
3 電池ブタを閉めて下さい。
●溝に合わせてスライドさせて下さい。

③ロールペーパーの入れかた

本機付属の感熱紙（S950）の他に2800行まで印字可能な長手のS951もあります。S951ご使用の際は、別売専用ペーパーホルダーSVAZ007が必要となります。

1 ロールペーパーの最初の、のり付部分をまっすぐに切って取り除いてください。

2 ペーパーカバーを図のように開けてください。

3 パワースイッチをONにしてください。このときモーターが約１秒間動いて電源が入ったことを知らせます。

4 ロールペーパーの先端を図のようにペーパー挿入口へ入れてください。
（ロールペーパーを入れる方向（表・裏）に注意してください。裏にはプリントできません。）

5 4の状態で紙送りスイッチを押してペーパーを送ってください。
このときペーパーの先端がプリンタから２〜３cm出るまで紙送りスイッチを押し続けてください。
（無理に手でロールペーパーを引き出さないでください。）

6 ロールペーパーをボックス内に入れペーパーカバーを閉じてください。
（ロールペーパーがつぶれている場合は、丸く形を整えてからボックス内に入れてください。）

注１）ロールペーパーを逆方向（紙送りスイッチを押して送られる方向と逆の方向）に引き抜かないでください。故障の原因になります。ロールペーパーを全部使い終らないうちに新品と交換するときは、ボックス内のペーパーを先に切りとり、そのあと残ったペーパーを紙送りスイッチを押して取り除くか、正方向（紙送りスイッチによって送られる方向）に抜きとってください。
注２）必ず専用のロールペーパー（S950又はS951）を使用してください。これ以外のロールペーパーを使用した場合は印字不良や故障の原因になります。

パワースイッチ（上側がON）　紙送りスイッチ　ロールペーパー

④ストップウオッチとの接続方法

順序
1．ストップウオッチ（S143）とプリンター（SP12）のコード接続部に接続コードを右図の位置を持ってカチッと音がするまで確実に差し込んでください。（プリンター側、ストップウオッチ側の区別はありません。）接続コードの差し込み部には位置決め用の溝がありますので、差し込む際にご確認ください。

2．ご使用後はプリンター（SP12）のパワースイッチをOFF側にしてから、コードを抜き取ってください。このとき、右図に示す位置を持って抜き取ってください。

位置決め用の溝を合わせる。

プリンターSP12はそれぞれ旧機種であるS123、S124とも互換性を持っており接続可能です。

※S143はSP11との接続はできません。

⑤データのプリント

計測中のプリント
①ストップウオッチとプリンタを接続し、プリンタのパワースイッチをONにします。
②計測データのプリント
・スタートすると、下記のデータがプリントされます。
　ID番号（ID番号が設定されている場合）
　ブロック番号
　スタート　年月日
　　　　　　時刻
・計測されたタイムは、プリントと同時に300データまで自動的にメモリーされます。
※計測開始後、プリンタのパワースイッチをONにした場合、次の計測データからプリントされます。

計測後のプリント
・メモリーされたデータは、何度でもプリントすることができます。
・プリントには「ブロックを選択してプリント」／「全てのブロックをプリント」の２種類があります。

「ブロックを選択してプリント」
①メモリー呼び出し
プリントしたいブロックを表示させます。
そのブロック内のデータであればどのデータであってもかまいません。
②プリンタを接続して、パワースイッチをONにします。
③選択したブロックのプリント
ボタンⒸを押しつづけます。
ストップウオッチがプリンタの接続を確認すると、「Print」が点滅します。
・「Print」が点滅を始めて直ぐにボタンⒸを離すと、プリントは中止され、元の画面に戻ります。
④１秒ほど押し続けてボタンⒸを離すと、選択したブロックのデータが高速に表示された後、プリントされます。
（高速表示中に最速ラップを探しています）

（スタートデータ）　（プリント確認）　そのブロックの最後のストップタイムが表示されます。

「全てのブロックをプリント」
①プリンタを接続し、パワースイッチをONにします。
②メモリーを呼び出した後ボタンⒸを押しつづけます。「Print」が点滅します。
③全てのブロックのプリント
・さらにボタンⒸを押しつづけると、「Print ALL」が表示されます。
④ここでボタンⒸを離すと、ブロック１から順に全てのブロックが高速に表示された後、プリントされます。
（高速表示中に各ブロックの最速ラップを探しています）

注意事項
※プリント中は、全てのボタンが効かなくなります。
・プリント中に、プリントのキャンセルはできません。
・プリント前の高速にデータを表示しているとき、および、プリント中は、プリンタのパワースイッチをOFFにしたり、接続コードを外さないでください。故障の原因になります。

（全ブロックプリント）

⑥スプリットタイムとラップタイムのプリント

●プリンタのスイッチ切り換えで、スプリットタイムのみをプリントする場合とスプリットタイムとラップタイムの両方をプリントする場合とに使い分けができます。

※順位（または区間）の表示は1〜99までで、100位（または区間）は0となり、以降1からくり返します

⑦経過時刻のプリント

- ストップウオッチ機能と同様に、スタート、途中経過時刻、ストップ時刻をプリントすることができます。
- 経過時刻は、メモリーされません。

①ストップウオッチをリセット状態にしてください。
②時刻・カレンダー表示にしてください。
③ストップウオッチ機能と同様に計測します。

ストップした時刻（10時11分６秒）

5 お取り扱い上の注意①プリンター使用上のご注意

（1）計測中にパワースイッチをオンにした場合、それ以降の計測したタイムがプリントされます。
（2）プリンターの作動中に、ロールペーパーを引き抜いたり、引き戻したりしないでください。また、ロールペーパーがセットされていない状態で、印字させようとする動作（空印字）は避けてください。故障の原因になります。
（3）プリンターをご使用にならないときは、必ずパワースイッチをOFF側にしてください。
（4）コードを抜くときは、コードを引っ張らず、必ずプラグを持って抜いてください。

②ストップウオッチ使用上のご注意

（1）プリンターなどを使用しないときは、必ずジャックキャップを付けてください。

③ロールペーパー（感熱紙）について

本機のプリント（印字）方式は、感熱紙を加熱して発色させる感熱式ですので、インクの交換等は不要ですが、感熱紙をお使いいただくとき、次の点に注意してください。

●新しい感熱紙を保存する場合は、乾燥した涼しい場所で、箱等に入れて（光に当たらないように）保存してください。

●感熱紙のプリント面（プリントする面、あるいはプリントされている面）には、手の汗や油をつけないようにしてください。プリントができなくなったり、文字が薄くなったりします。

●プリンター（SP12）付属の感熱紙（S950）の他に2800行まで印字可能な長手のS951もあります。S951ご使用の際は、別売専用ペーパーホルダーSVAZ007が必要となります。

●プリント（印字）した感熱紙を保存する場合は、次の点にご注意ください。
（イ）明るい光に長時間当てないでください。プリントが薄くなることがあります。
（ロ）高温、湿気、日光はさけてください。感熱紙が変色することがあります。
（ハ）台紙等に貼って保存する場合、揮発性有機溶剤を含んだ糊、接着剤は使用しないでください。また、セロテープのご使用もさけてください。感熱紙が変色することがあります。澱粉系の糊、合成糊等をおすすめします。
（ニ）アンモニアを用いる複写機でコピーした直後のコピー紙には近づけないでください。感熱紙が変色します。
（ホ）塩化ビニールのフィルムなどに長時間接触させないでください。感熱紙が変色したり、プリントが薄くなったりします。

※感熱紙は必ず本機専用のロールペーパー（S950又はS951）をご使用ください。これ以外のロールペーパーを使用した場合は印字不良や故障の原因になります。

④液晶パネルの交換

この時計の液晶パネルは、７年を過ぎますと、コントラストが低下して数字が読みにくくなることがあります。
お買い上げ店に交換をお申しつけください。実費にて申し受けます。

⑤電池についてのお願いとご注意

●電池について
（1）電池寿命
この時計は、新しい正常な電池を組み込んだ場合、その後約3年間作動します。
※S143の電池寿命は、ストップウオッチ動作３時間／１日を基準としておりますので、それ以上使用した場合は3年に満たないうちに容量が切れます。
●プリンタは新しい正常な電池を組み込んだ場合、マンガン単３乾電池４本で約10,000行（ロールペーパー約14本分）プリントできます。また、アルカリマンガン乾電池では、マンガン乾電池の約２倍のプリントができます。（24℃で連続してプリントした場合）
※低温では、電池の働きが弱まるため、プリントできる行数が減ります。低温で連続してご使用になるときは、アルカリマンガン乾電池のご使用をおすすめします。
●次のような現象は、乾電池の消耗を示しています。
（パワースイッチがON側にある状態で）
（イ）プリント（印字）のスピードが遅くなる。
（ロ）字にムラやカケが出てくる。
（ハ）印字が薄くなる
（ニ）紙送りしない、あるいは紙送りが不規則になる
（ホ）プリントができない
これらの現象が出てきましたら、「4の②乾電池の入れかた」に従って、新しい乾電池と交換してください。
（2）最初の電池
お買い上げの時計にあらかじめ組み込まれている電池は、機能・性能をみるためのモニター用です。お買い上げ後上記期間に満たないうちに電池寿命が切れることがありますのでご了承ください。
（3）電池交換
①電池交換は、必ずお買い上げ店で「純正電池」とご指名の上、ご用命ください。
②電池寿命切れの電池をそのまま長時間放置しますと、漏液などで故障の原因になりますので、お早めに交換してください。
③電池交換は、保証期間内でも有料となります。
④電池交換で裏ぶたを開閉しますと当初の防水性能を維持できなくなる場合があります。電池交換の際には、お客様の時計の防水性能にあった防水検査をご依頼ください。特に10気圧以上のものは検査が必要です。
防水検査は日数を要しますので、期間をご確認のうえご依頼ください。
（4）電池寿命切れ予告機能（ストップウオッチ）
●電池マーク「BATT」が点滅を始めたら寿命切れ間近ですので、お早めにお買い上げ店またはセイコー取扱店で電池交換をご依頼ください。尚、電池交換いたしますとすべてのメモリーは消去されますので、必要なデータがある場合は交換前にプリントアウトしてください。

⚠警告
1．お客様は、時計から電池を取り出さないでください。
2．やむを得ずお客様が時計から電池を取り出した場合は、電池は直ちに幼児の手の届かないところに保管してください。
3．万一飲み込んだ場合は、身体に害があるため直ちに医師とご相談ください。

⚠注意
1．破裂、発熱、発火などのおそれがありますので、電池を絶対にショート、分解、加熱、火に入れるなどしないでください。
2．この時計に使用している電池は、充電式ではないので、充電すると液漏れ、破損のおそれがあります。絶対に充電しないでください。
3．「常温（5℃〜35℃）からはずれが温度」下で長時間放置すると電池が漏液したり、電池寿命が短くなることがあります。

⑥使用上の注意とお手入れの方法

⚠注意
●防水性能
・このストップウオッチの防水性能は日常生活防水です。
・水分のついたままボタンの操作をしないで下さい。時計内部に水分が入る場合があります。

		洗顔や雨など一時的にかかる水滴。	水泳や水仕事など長時間水にふれる場合	空気ボンベを使用しないスキンダイビング	空気ボンベや、ヘリウムガスを使用する本格的な潜水。	水滴がついた状態でのボタンの操作。
日常生活用防水	ケースの裏に WATER RESISTANT の表示のある時計	○	×	×	×	×

⚠警告
・日常生活用防水（３気圧）の時計は水の中にいれてしまうような環境での使用はできません。

保管について
・「－10℃〜＋60℃からはずれた温度」下では、機能が低下したり、停止する場合があります。
※この時計は常温（５℃〜35℃の範囲内）において安定した精度を得られるように調整してあります。よって、温度によって多少の進み遅れが生ずることがありますが、常温にもどればもとの精度にもどります。
・磁気や静電気の影響があるところに放置しないでください。
・強い振動のあるところに放置しないでください。
・極端にホコリの多いところに放置しないでください。
・薬品の蒸気が発散しているところや薬品にふれるところに放置しないでください。
（薬品の例：ベンジン、シンナーなどの有機溶剤、およびそれらを含有するもの―ガソリン、マニキュア、化粧品などのスプレー液、クリーナー剤、トイレ用洗剤、接着剤など―水銀、ヨウ素系消毒液など）
・温泉や防虫剤の入ったひきだしなど特殊な環境に放置しないでください。

⚠注意
・提げ時計やペンダント時計の場合、ひもやチェーンによって衣類や手・首などを傷つけることがありますのでご注意ください。

●定期点検について
・ながくご愛用いただくために、2〜3年に一度程度の点検調整をおすすめします。定期的な点検により目に見えない部分が原因となる損傷を未然に防ぎ、より安心してご使用いただけます。保油状態・漏液の有無・汗や水や水分の侵入などをお買い上げ店で点検をご依頼ください。点検の結果によっては分解掃除を必要とする場合があります。

⑦補修用性能部品について

- この時計の補修用性能部品の保有期間は、通常7年間を基準としています。正常なご使用であれば、この期間中は原則として修理可能です。（補修用性能部品とは、時計の機能を維持するのに不可欠な修理用部品です。）
- 修理可能な期間はご使用条件によりいちじるしく異なり、精度が元通りにならない場合もありますので、修理ご依頼の際にお買上げ店とよくご相談ください。
- 修理のとき、代替品を使用させていただくことがありますのでご了承ください。

⑧アフターサービスについて

- 万一故障した場合には、お買上げ店にお持ちください。保証期間内の場合は保証書を添えてください。
- 修理期間経過後の修理およびこの時計についてのご相談はお買上げ店でうけたまわっております。なお、ご不明の点は冒頭の「セイコーウオッチ（株）お客様相談室」にお問いあわせください。
- 保証内容は保証書に記載したとおりですので、よくお読みいただき大切に保管してください。

⑨付属品、オプション品の使いか

●別売専用キャリングケースを使用した場合（SVAZ003）

接続コード　マジックバンド

●プリンタ肩ヒモを使用した場合

6 故障とお考えになる前に

修理を依頼される前に、もう一度、次の表に従ってお調べください。

7 製品仕様（ストップウオッチS143）

1．水晶振動数……32,768Hz（Hz＝１秒間の振動数）
2．精度……常温（５℃〜35℃）において±0.0006%以内
　月差換算±15秒以内
3．作動温度範囲……－10℃〜＋60℃
4．表示温度範囲……０℃〜＋50℃
5．表示内容……〈ストップウオッチ表示〉
　３段表示
　時・分・秒・1／100秒、スピリット／ラップ／トータルタイム又はランニングラップタイムの一括表示、ブロック数、スプリット回数計（０〜999回まで）、300メモリー・リコール、BLOCK, SPLIT, LAP, STOP, RECALL,. モード表示, メモリー使用量表示, BATTマーク
　〈時刻・カレンダー表示〉
　時（24時間制）、分、秒、年、月、日、モード表示、ID番号（OFF／01〜99）、コントラスト調整表示
6．表示体……FE型ネマチック液晶
7．使用電源……リチウム電池 セイコー純正電池コードSB-T74（CR2430）１個
8．電池寿命……約３年（但し、ストップウオッチ３時間／１日を基準としておりますので、それ以上使用した場合は３年に満たないうちに容量が切れます）
9．電子回路……C-MOS-LSI　１個
10．電池寿命切れ予告機能付き

※上記の製品仕様は改良のため予告なく、変更することがあります。

8 製品仕様（プリンタSP12）

1．プリンタ……形　名：MTP102
　印字方式：感熱式シリアルドット方式
　印字方法：一方向印字（左から右）
　印字スピード：約1.5行/秒（DC5. 0V、25℃の時）
　印字桁数：１行13桁（スペース含む）
2．記録紙……感熱紙：ロールペーパーS-950
　幅　38（＋０〜－0.5mm）　全長　2400mm以上（１本で約700行印字）
3．電源……DC6V（単３乾電池４個使用）
4．消費電力……印字時：約1.5W（DC6.0V）
　パワースイッチON時（印字無）：約0.02W（DC6.0V）
5．電池寿命……マンガン乾電池使用の場合：約10,000行印字（ロールペーパー約14本分）
　アルカリ乾電池使用の場合：約20,000行印字（ロールペーパー約28本分）
　（使用温度24℃において、ストップウオッチS123、S124、S143、S701と接続して、連続して印字した場合。電池の種類および使用方法などにより、多少の変動があります。）
6．作動温度範囲……０℃〜40℃温度補正：有（温度が変化しても印字の濃さは変わりません）
7．外形寸法・重量……タテ130.8mm×幅81.6mm×厚さ28.5mm、約220g（電池、ロールペーパー含む）

※上記の製品仕様は、改良のため予告なく変更することがあります。